オリエンタルバイオサービスの有償分与

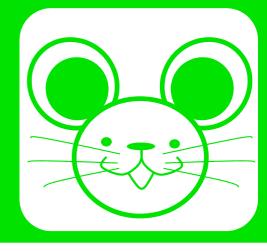
Background: C57BL/6

12/DAP10 DKO

Developer: Toshiyuki Takai. Ph.D.

Institute of Development, Aging and Cancer,

Tohoku University



動物	マウス (Mus musculus)				
開発者	東北大学加齢医学研究所遺伝子導入分野 高井 俊行先生				
系統名(通称)	DAP12/DAP10 double knockout				
分類	Targeted mutation				
系統の由来	ジーンターゲティングには129SvJ由来の ES細胞を用い、C57BL/6 blastocystsに注入。 得られたキメラマウスと野生型B6マウスと交配し、10世代以上の戻し交配を行った後、兄弟交配にてホモマウスを作出しております。				
特徴(表現型所見など)	免疫応答異常。骨形成異常。				
遺伝的背景(繁殖・維持方法)	DKO×DKOの繁殖で系統維持可能。				
維持環境	凍結受精卵にて保管中 (マウス個体化時にはSPF環境での飼育を推奨)				
Ensembl Mouse Gene	ENSMUSG0000030579 (DAP12)				
	ENSMUSG0000064109 (DAP10)				
PCR プロトコール	下記、担当者までお問い合わせください。				
参考文献	Inui et al., Proc. Natl. Acad. Sci. USA 2009, 106: 4816-4821				
開発の経緯	破骨細胞の分化および活性化機構を理解は骨疾患の発症機序の解明に重要な要素の一つです。 近年の研究結果から活性化アダプター分子DAP12を介するシグナルが破骨細胞分化に必須であることが示され、またDAP10遺伝子欠損マウスは、加齢に伴う破骨細胞の分化障害により骨硬化を呈することを明らかにされております。 破骨細胞におけるDAP10会合分子の探索を行ったところ、MDL-1(myeloid DAP12-associating lectin-1)が同定され、MDL-1/DAP10/DAP12の三量体を形成していることが分かってきました。 DAP10はMDL-1を介してDAP12と協調的にはたらき、破骨細胞分化を制御していることが示唆されたため、DAP10およびDAP12を2重に欠損させた本組換えマウスが開発され、新規治療法の道を拓くことができるものと期待されています。				

分与条件:全てMTAの締結が必要となります。

- ・提供方法:凍結受精卵もしくは凍結受精卵よりマウスを作出しご提供
- ・価格:1)凍結受精卵:200,000円/100個(2-cell)/2本

2)凍結受精卵からの個体化(オプション):

作出期間(目安):3か月

(ご希望に合わせて、お見積り致します。):300,000円~

·輸送費別途

詳細につきましては、下記担当者までお問い合わせください。

お問合せ窓口:オリエンタル酵母工業株) 東日本バイオ営業部 オリエンタル酵母工業(株) 西日本バイオ営業部 (株)ケービーティーオリエンタル 株式会社オリエンタルバイオサービス 営業部

TEL 03-3968-1163 / FAX 03-3968-1196 TEL 0942-81-2400 / FAX 0942-81-2401



有償分与マウス・ラットお問い合わせシート

お問い合わせFAX 075-322-0232

ご連絡先					
	・ご依頼日				
	・ご住所(〒)			
	・ご所属				
	·TEL		·FAX		
	· E-mail				
	N容(ご質問等) ?ウス·ラット				
Fc R	BKO (C57BL/6)		Hrh1KO (C57BL/6)	DAP12/DAP10DKO (C57BL/6)
□ pCIned	pPDGFβ chrna4S284	L (SD)			
	ご希望数	匹	匹		
	ご希望の納期				
その他(ご					



お問合せ窓口: オリエンタル酵母工業㈱ 東日本バイオ営業部 TEL 03-3968-1163 / FAX 03-3968-1196 オリエンタル酵母工業㈱ 西日本バイオ営業部 TEL 06-6338-1095 / FAX 06-6384-7692 ㈱ケービーティーオリエンタル TEL 0942-81-2400 / FAX 0942-81-2401 株式会社オリエンタルバイオサービス 営業部 TEL 075-322-1177 (代) / FAX 075-322-1